

所沢市

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/shigikai/shingi/giketugaiyou/giinteisyutu/h22/giinteisyutugian22.6/index.html>

発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディア
デージー教科書の普及促進を求める意見書

平成 20 年 9 月に「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等
に関する法律」、いわゆる教科書バリアフリー法が施行されました。

この教科書バリアフリー法の施行を機に、平成 21 年 9 月より、(財)日本障害者リハビリ
テーション協会(リハ協)がボランティア団体の協力を得て、通常の教科書と同様のテ
キストと画像を使用し、デジタル化対応することで、テキスト文字に音声をシンクロ(同
期)させて読むことを可能にした「マルチメディアデージー版教科書」(デージー教科書)
の提供を始めました。また文部科学省において、平成 21 年度よりデージー教科書などの
発達障害等の障害特性に応じた教材の在り方やそれらを活用した効果的な指導方法等につ
いて、実証的な調査研究が実施されております。

現在、デージー教科書は、上記のとおり文部科学省の調査研究事業の対象となっており
ますが、その調査研究段階であるにもかかわらず、平成 21 年 12 月現在で約 300 人の児童
生徒に活用され、保護者などから学習理解が向上したとの効果が表明されるなど、デージー
教科書の普及促進への期待が大変に高まっております。

しかし、デージー教科書は教科書無償給与の対象となっていないことに加えて、その製
作は、多大な時間と費用を要するにもかかわらず、ボランティア団体頼みであるため、必
要とする児童生徒の希望に十分に答えられない状況にあり、実際にリハ協が平成 21 年度
にデジタル化対応したデージー教科書は小中学生用教科書全体の約 4 分の 1 に留まってお
ります。

このような現状を踏まえると、まず教科用特定図書等の普及促進のための予算の更なる
拡充が求められるところですが、平成 21 年度の同予算が 1.72 億円に対し、平成 22 年度
は 1.56 億円と縮減されております。

また、文部科学省の通達により、デージー教科書の提供先が児童生徒本人のみに限定さ
れているため、担当教員らが入手して活用方法などを研究することが困難であると言われ
ており、学校現場でのデージー教科書の普及が遅れている原因の一つともなっております。

よって、政府及び文部科学省におかれては、必要とする児童生徒、担当教員等にデージー
教科書を安定して配布・提供できるように、その普及促進のための体制の整備及び必要
な予算措置を講ずることを要望いたします。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 22 年 7 月 1 日

所沢市議会

提出先 内閣総理大臣 文部科学大臣